

製品説明書

031-0700-3-1
ロックペイント株式会社

品番 031-0700

品名 ビニロック V.O ホワイト

規格 JIS K 5663 1種

ホルムアルデヒド発散等級 F

系統 特殊架橋型アクリルエマルジョン樹脂をベースとしたエマルジョンペイント

適合規格 JIS K 5663 1種

塗装用略号 AEP

特長

- ・水性で臭いが少なく、しかも揮発性有機化合物（VOC）をほとんど含んでいないので極めて安全性が高い塗料です。
- ・塗りやすく、トマリがよく、仕上がりが良いエマルジョン塗料です。
- ・完全艶消しタイプなので、素地の凹凸やパテあとが目立ちません。
- ・建物の内装で特に、一戸建住宅・ビル・学校・病院・老人ホームなどの常に居住者がいるところに大変有効です。

用途

- ・屋内コンクリート、モルタル、ケイカル、プラスターボードなどの新設面。
- ・旧塗膜（水性塗料面）の塗り替え。

塗料性状

- ・加熱残分 % 61.5
- ・粘度 KU 20 90～100
- ・塗料比重 20 1.48

製品安全資料及び法定表示

- ・火災危険性
危険物表示 = 水性塗料であり非危険物
- ・労働安全衛生
有機溶剤中毒予防規則 = 非該当
労働安全衛生法表示 = 労働安全衛生法第57条に基づく表示物質を含んでいません。
- ・反応性 = なし
- ・漏洩時の処置 = (1) 乾燥した砂などをかけてすくいとり、周囲の状況に応じて、河川や農業用水路等へ流入しないよう注意し水洗いしてください。
(2) 廃棄物の処理の時は、その地域の廃棄物に関する法律等に十分注意してください。
- ・その他取扱上の注意 = (1) 取扱い中は、目にはいらないように、また皮膚にふれないように、保護眼鏡、保護手袋を使用してください。
(2) 容器の蓋は密閉し、高温（40 以上）や低温（5 以下）での保存は塗料が変質することがありますのでさけてください。

容量 20Kg

使用方法

・コンクリート、モルタル面塗装

- ・素地調整 (1) 素地面を十分に乾燥させ水分8%以下、pH9.5以下にしてください。
(2) ゴミ、汚れなどを除去し清浄な面にしてください。
- ・下塗り ビニロック VO シーラーなどを塗装してください。
- ・調色 ロックトーン カラーラント7000を5%以内又はビニロック VO 原色を使用して下さい。(淡彩色、中彩色)
- ・希釈剤 水

・塗装方法、希釈割合(重量比)、標準塗布量、塗布面積

塗装方法	ハケ・ローラー	スプレー
希釈割合	5～15%	10～20%
標準塗付量	0.11～0.13 Kg/m ² ・回	0.11～0.13 Kg/m ² ・回
塗布面積	150～180m ² /20Kg・回	150～180m ² /20Kg・回

・乾燥時間	10	20	30
指触乾燥	1時間	30分	20分
硬化乾燥	4時間	2時間	2時間
塗り重ね乾燥	4時間	2時間	2時間

施工上の注意点

新しいコンクリートやモルタルなどは水分8%以下、pH9.5以下になるまで十分乾燥させてください。

塗る面のゴミ、かび、こけ、油分などの汚れやはがれかかった塗膜はよく取り除き、乾いた清浄な面にしてください。

気温または躯体温度が5 以下の場合や湿度85%以上の場合、並びに被塗面が結露しているとき、また塗装後2～3時間以上気温が5 以上を保てない場合の塗装は避けてください。造膜不良の原因となるばかりか十分な塗膜性能が発揮されないことがあります。

降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。塗膜が完全に乾燥する前に、降雨、結露等がありますと、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。

劣化が著しい旧塗膜や、吸い込みが激しい面には、ロックカチオンシーラーを下塗りしてください。また、新設でアルカリが強い場合や、ケイカル板に塗装する場合も、ロックカチオンシーラーを下塗りしてください。

クリーナーが浮いている場合がありますので、使用する前に塗料を底から十分によくかき混ぜて、均一な状態にしてください。

各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また、各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。塗装時および塗装後は換気をよくしてください。密閉した室内では乾燥が遅くなります。また、水のかかる場所は塗装後換気を良くし、24時間以上(20 の場合)乾燥してからご使用ください。(常時水のかかる場所には塗装できません。)

塗料は0 以上40 以下の温度で保管してください。

低VOC塗料ですから、0 以下で貯蔵しますと凍る恐れがあります。凍った場合は、常温で完全に溶かし、よく攪拌してから使用してください。塗料が凍ったままで攪拌や塗装することは避けてください。

室内で水のかかる箇所には、下地に水性パテを使用しないでください。セメントフィラー等をおすすめしますが、エフロレッセンスが発生する場合がありますので養生期間は十分にとってください。

塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラーの境目はできるだけ奥までローラーで塗装してください。

補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は、同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。

付着性の悪い素地への塗装は避けてください。

旧塗膜がつや有り仕上の場合、条件により適性がない場合がありますので、あらかじめ試し塗りをしてから施工してください。また、弾性系塗膜の塗り替えには使用できません。

水系塗料においては、ウエス等で強く擦ることで色が付着する場合があります。強く擦られることが考えられる部位への塗装は、なるべく避けてください。

安全衛生上及び取扱上の注意

- 製品の危険・有害性
 - 危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。
- 救急処置
 - 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
 - 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
 - 皮ふに付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
- 取扱注意事項
 - 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
 - 取扱中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。
 - 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
 - よくふたをし、40 以下で0 以上の子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
 - 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
 - 廃棄の際は産業廃棄物として、認可業者に処理を委託してください。
- 製品安全データシート(MSDS)をよく読んでから取り扱ってください。